

【報道関係各位】

2016年 7月 12日
一般財団法人 日本気象協会

2016年の夏休みは、お盆以降の残暑に注意！

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2016年の夏休み期間（7月下旬から8月）の天候に関する情報を発表します。

◇2016年の夏休み期間の天気傾向

- ・西日本や奄美・沖縄を中心に、晴れて暑い日が多い見込み
- ・関東はお盆の頃（8月中旬）から暑さが厳しくなり、熱中症に警戒が必要

2016年7月12日 発表 JWA 日本気象協会

2016年夏休みの天気傾向

	前 半 (7月下旬～8月上旬)	後 半 (8月中旬～下旬)
北海道・東北 (北日本)	 ・曇りや雨の日が多い ・東北の梅雨明けは遅くなる見込み	 ・天気为数日の周期で変わる ・気温は平年並みの見込み
関東甲信・北陸 ～九州 (東・西日本)	 関東・北陸 ・関東・北陸はくずついた天気が続く ・その他は、晴れて暑い日が多い	 ・晴れる日が多い見込み ・残暑が厳しく、秋の訪れは遅い
奄美・沖縄 (南西諸島)	 ・晴れて気温の高い日が多い見込み	 ・晴れる日が多い見込み ・残暑が厳しく、秋の訪れは遅い

7月下旬から8月上旬にかけては、西日本（近畿～九州）や奄美・沖縄は晴れて暑い日が多いでしょう。地上付近の気温が高く、夜間も気温が下がりにくいいため、“熱帯夜”となって寝苦しい日が続くでしょう。

一方で、太平洋高気圧の北への張り出しが弱いいため、梅雨前線が東日本から北日本付近に停滞しやすい見込みです。そのため、関東や北日本（北海道・東北）は曇りや雨の日が多いでしょう。ただし、あまり気温は低くならず、蒸し暑い日が多いでしょう。

梅雨明けは、九州北部から東海は平年並みですが、九州南部・北陸・関東甲信・東北は平年より遅くなりそうで、特に東北は8月にずれ込む可能性もあります。

しかし、お盆休みに入る8月中旬からは太平洋高気圧の北への張り出しが次第に強まり、奄美・沖縄から関東の広い範囲で、夏らしい晴れて暑い天気となりそうです。厳しい残暑が続き、“猛暑日”や“熱帯夜”となる日も多く、秋の訪れは遅くなるでしょう。前日に比べ急に暑くなる日などは、熱中症に十分な警戒が必要です。

東北や北海道では天気が数日の周期で変わりますが、次第に晴れる日が多くなるでしょう。



【各地域の天候のポイント】

◇北海道・東北（北日本）

- ・8月上旬にかけて曇りや雨の日が多いですが、気温は平年並みでしょう。
- ・東北地方の梅雨明けは平年より遅くなりそうで、8月にずれ込む可能性もあります。
- ・8月中旬以降は、天気が数日の周期で変わりますが、次第に晴れる日が多くなるでしょう。

◇関東甲信・北陸～九州（東・西日本）

- ・西日本（近畿～九州）を中心に晴れて、“猛暑日”や“熱帯夜”となる暑い日も多いでしょう。
- ・関東地方は、8月上旬まで曇りの日が多くなりそうですが、その後は西日本と同様に晴れて暑い日が多くなる見込みです。
- ・渇水が続く関東北部の降水量は平年並みの予想で、引き続き渇水状態の続く恐れがあります。
- ・梅雨明けの時期は、九州から東海は平年並みですが、関東や北陸ではやや遅くなる可能性があります。

◇奄美・沖縄（南西諸島）

- ・7月下旬は曇りや雨の日が多いですが、次第に晴れる日が多くなるでしょう。
- ・気温は平年より高い日が多く、8月中旬以降も残暑が厳しい見込みです。

【熱中症対策のポイント】

今年の夏休みは、暑い日が多くなりそうのため、熱中症に警戒が必要です。特に、以下のような日は熱中症になりやすいと言われており、十分な対策が必要です。

（熱中症に要注意な日）

- ①梅雨明け直後に、急に暑くなる数日間
- ②数日気温の低いが続いた後、再び暑くなる日
- ③疲労がたまったり、身体が冷房の涼しさに慣れてしまいがちな、お盆休みが明けた頃

本情報は2016年7月12日時点の予測資料から作成したものです。最新の気象情報は日本気象協会の天気予報専門サイト「[tenki.jp](http://www.tenki.jp/)」<http://www.tenki.jp/> でご確認ください。

以 上